# 国語部会の取り組み |

#### 国語科における研究仮説

「少人数での話し合い活動を学習に位置づけ、自分の思いを根拠をもとに話し合う経験を積み重 ねていけば、互いの表現のよさに気づきながら表現力を伸ばし、大きい集団になっても、自信を 持って話したり、学習活動に参加したりできるであろう。」

本研究では、国語科の学力向上にとどまらず、他の教科・ 領域における学習の力を総合的に高めるために次の2点を特 に重視した。また、児童が根拠を持って話したり書いたりす る論理的思考力の効果的育成につながると考え、「説明文教 材」を中心に研究することとした。

- 学習の基礎としての言語能力を育成
- 学習に必要な話し合いのスキルを育成

# 指導案からひもとく国語部会のこだわり

「単元別・教材別学習内容一覧」 「単元の系統(読むこと)」 「単元目標と言語事項の系統表」

#### 目指す授業の姿

「確かな読みの力」を高めるために目指す授業 の姿を以下のように設定し、授業改善を試みた。

- ・ 全員が言葉、声を発する授業
- 全員がすらすら音読できる授業
- じっくり考えたり、読んだりする 場のある授業
- 言葉にこだわる授業

## 単元構想図の作成

#### 1次 課題を持つ

- ブックトーク教材文との出合い
- ・ 新出漢字の学習や難語句の意味調べ
- 既習の学習の振り返り
- 3次での自分の姿をイメージさせる。

#### 2次 確かに読み取る

- ・ 適切な学習課題を設定
- 教材文をしっかり読み、文章を正しく理解する
- 3次での学習のための言葉の力をつける。

#### 3次 読み取ったことを生かす

- ・ 2 学期は「書く」活動、3 学期は「話す・聞く」活動を設定
- 2次でつけた力の活用
- 自己の成長を実感させ、学習や表現活動への自信と意欲を高める。
- ・興味・関心をさらに広げ、多様な読書活動などにつなげる。

前6学年 「わた たちの『未来』について討論しよう』単元構想図

教材名から、自分 の考えを担づ。

何年前の様子を自分 たちの未来とついて 思しなら

真智の説明文に おけら英型で仕方 を振り高る。

単元の計画を立てる

- 有要の感想がよ、学習計画について話し合う。
- 全文を試み、数付文の構収をとらえる。
- 自分の人来予例をベネルディスカッションで支ださる計論し合うという相 予意識・目的意識を持つ。

3次構成が基本

はじめ の部分とお北子間の相目を終 み形法.

東京不能の内容を終れまれ 「縁もの」の影分から無者の考えを読み 取ら、自分の考えを持つ。

2位学習民意原知報酬 第6学年25月7日第6学年17日報とこと

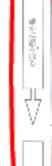
- ① 日春:日的に応じ、内容や委託を 把握にながら終むことができるよう にするとともに、病害を通して考え を広げたり保めたらしようとする機 度を育てる。②内容 アイエオ
- G 言語信助: 6 分の課期を解決する ために関係や事典などを活用して と紹介性 切を終わてい

の考えを伝え合う 自分の未来予測を説明するために、必要な

- 資料を探して終む。 予測と標準を明らかにしながら、対益会の回
- 分割を目にパネルディスカッションを行う。 バネルディスカッションを探り違う、妄想を伝
- 学習のまとのをする。

- パネルディスカッションに 2018/E/OA
- · HPSR
- 科事意識
- 論の耐み立てが (肥松、具体(株化))
- 関き力
- Nin-costs







★ 国語科の目標 (学習指導要領、単元目標に基づいて)

★ 研究主題(3つの視点に基づいて)

#### 【かかわり合い】

- 〇 人との関わり(他者から学ぶ)
- 対話能力・表現能力・スキル
- 数材との関わり
- 作品、文章表現との出合い等
- 生活事象との関わり
- 読書活動・生活で生きる学習等

### 【自己を拓く】

- 〇自らの成長や個性を味わう
- 学習が生かされる活動の工夫 言語能力の高まりの実感
- 表現することへの自信
- 国語の学習を好きになること

#### 【豊かな表現】

- ○話す力・聞く力・書くカ
- 基礎的な力を身につける
- 表現する楽しさを味わわせる
- 他教科・領域、日常生活での 表現活動につなげる

第6字年国居科学学指导案

имоонелия 排車者 三上告偿

1. 単元名 - おたし さ (4.90年)について四番(1.15) 0未关于例1

3. 東文について

本学報の記章(男子の名。女子11名、計16名)は、今年度、説明大「イーステー島にはなぜ高林が いのか、「可要の意味を描って、ので答を行ってきた。文章構成を批えたり、文本表現や記録網のと) そのけて工事を認らがり、そことによって、講像・文のつかがり、音音の考えを何能に読み取るこ あおかになってきている。また、自分の考えなどを支援の事で関すことに対しては自任が持て 的になりがらた面に思われたが、ペア学習を対象値してあるに表現への意識も高さり、精神的 う数が見られるようになってきた。

本準元の教材文 「百年前の未来予測」は、新聞記事の紹介という事実の決認の中に 想像などが異現るれたものである。そして、未来予測が活動に対する思報の機能・患る いわると同様 に、革命の主要等問題規程が明確に記述されており、現在の社会事業を多核な現在 うのますこと こし間でいてものであると何える。また、自分からで本来について考え対論する学 的大块块计器 づいた子間であるために繋ぐほどの様本で同たっていることなど、未来予集のた 重要なポイントを示唆する役割を集とすらのである。ほと、水平デでは、対路が カッションを開定する。パネルディスカッションは見るにとっておめてお婚する AM CISALWAY 師の形態であり、調査、 免费、简联心答文:20代前数を運じて、児童が幸福支援以中考え方を出し合 自らの考えを図わていく ことが開格されるものである。

押郷にあたっては、日分の考えた本庭予見をバネルディスカッ の見過し上意味を変めていきたい。数料文を課み避める際には、「! 「現在」「苦味にのとき、そのと を保み取ったり、感を対しの機能 していきといったして、多様な見方 多川などの言葉を手がかりに、天本を測について解明されている 話や文本会場を手が行わた。施者の考えを終み扱ったりできる。 で教育を任え、機関を信とに目分の内えかけ、America あるほしまで完えられるだけしたい。交遣の考えを整く即 では、まで伝えるからがら続くなどのことがです。 の物事を担え、機器を信とに自分の考えを持つ延備をかせえ 、メモを強いたから調と、自分の利えと性 なしています。 低の作み立てなどに完全して認得人 ていきたい、また、本統論を通して本 校界面の目得す雲に着るために、以下の場の設定に

理能・人一人が自らの考えを交流したり、意見を交わすことによって考えを確めたりできるこうにペア 学者や小グループでの学習場面を効果的に設定する。また、ハルオの合いに対する意味が高さるよう 、機能的に設見を発表する姿をはある。

#### 1856930

衛に対する自己評価を通いて学習による発見や自られ成長を登場付けるようにするとともに、よりよ い来席への展展を持つことができるようにする。

#### 193/2/2011

自らの表現活動に集かせる15、旅途や実施を消化を3-34で登録できる15にする。また、根紙から に自分の考えを書いたが、関係力のある話し方であるのですぐ話したがすることができるようにする。

ご文献の内容は6年間の考えを認み取り、「大米」はついての自分の考えを持って計論会をする。

## 大切にしたい学習活動

教材文の音鏡、詩の音鏡

学習課題の提示

一人学び(自力解決)

ペア学習、少人数のグループ学習

一斉学習(学習課題について、表現方法について)

学習のふり返り

## 《ア学習、少人数の話し合い



Articulation (Control of Control

#### 実施したカリキュラム



British parents and reads, read and resonance of the second secon

